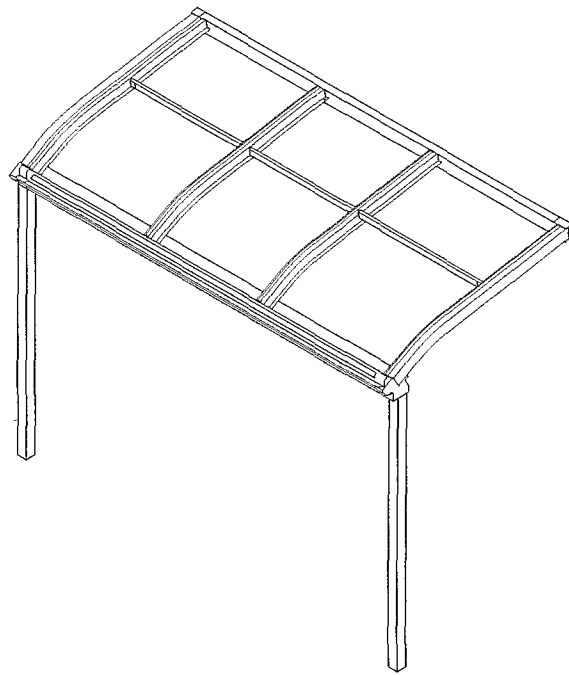


ファインテラス 標準タイプ 組立施工マニュアル




<目次>

- 販売店・工事店様へのお願い P1
- 規格寸法図・規格寸法表 P2
- 規格表 P3
- 組立手順 P4
 - 基本 単体タイプの組立
 - 基本 連棟タイプの組立
 - 基本 内嵌タイプの組立
 - バルコニー接続タイプの組立
- 基本納まり図 P11

販売店・工事店様へのお願い

● 安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	使用者がこの表示を無視して取り扱おうと人的、物的損害の予想されることを示します。

注意

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を継ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 積雪地域での施工は避けてください。
- 設置場所等で、地盤から高く強風を受ける場所への設置は、事前に弊社営業所にご相談ください。

お願い

- 施工を始めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了後養生テープをはがしてください。
- この商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていない場合、取り付けられない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険です注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

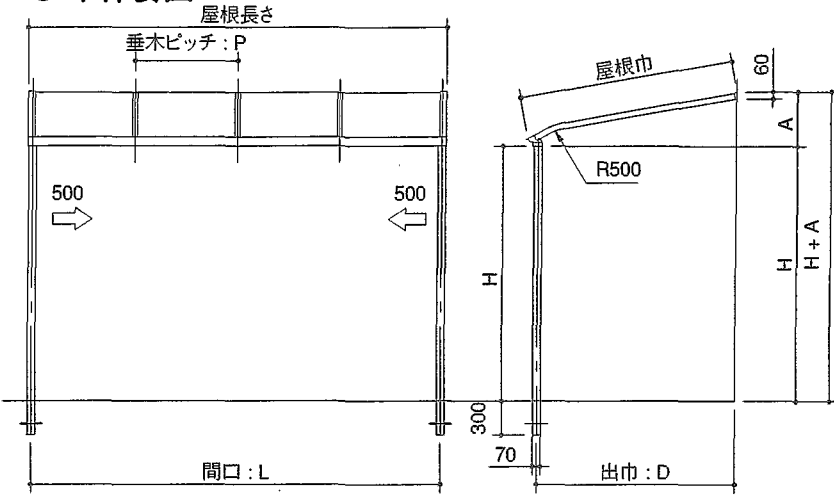
新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- | | |
|---|--|
| ● アルミ製品と 銅板やラス等 の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。 | ● モルタルやコンクリートの 凝結材 は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。 |
| ● 輸入木材 には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。 | ● 施工時にアルミ製品の表面に 付着 したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。 |
| ● モルタル用に 海砂 を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。 | ● 腐蝕の恐れのある 接着材や科学薬品 を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。 |
| ● モルタルやコンクリートの 抽出液 が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。 | |

規格寸法図 は柱移動範囲を示す。

規格寸法表

● 単体姿図



● 間口寸法

L	関東間	関西間
1.0間	1826	2022
1.5間	2735	2976
2.0間	3644	3931
2.5間	4561	4998
3.0間	5470	5952
3.5間	6379	6907
4.0間	7288	7862

● 屋根長さ

	関東間	関西間
1.0間	1906	2102
1.5間	2815	3113
2.0間	3724	4124
2.5間	4641	5135
3.0間	5550	6146
3.5間	6459	7157
4.0間	7368	8168

● 出巾寸法

	D
3尺	865
4尺	1165
5尺	1465
6尺	1765

● A寸法

	A
3尺	327
4尺	380
5尺	433
6尺	486

● 屋根巾

	屋根巾
3尺	989
4尺	1293
5尺	1598
6尺	1903

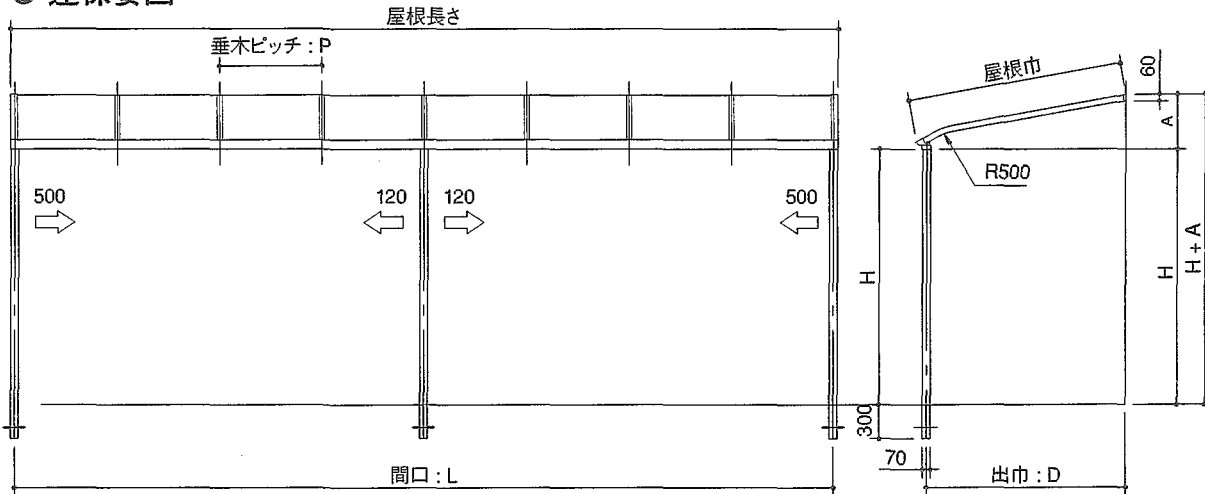
● 高さ寸法

	H
標準柱	2500

● たる木ピッチ

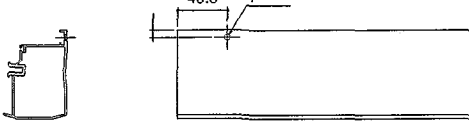
	P
関東間	911
関西間	1011

● 連棟姿図

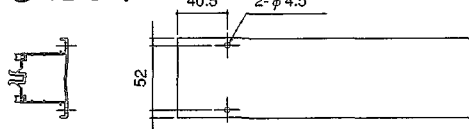


側枠・たる木・前枠 加工図

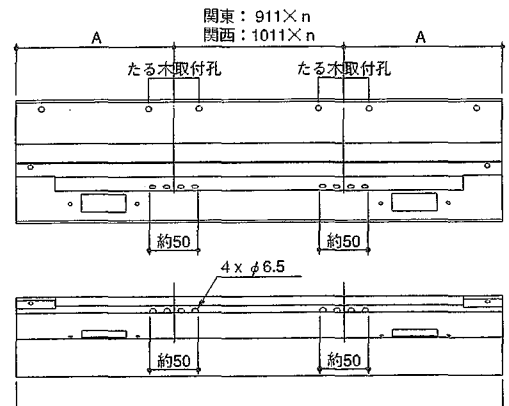
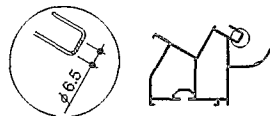
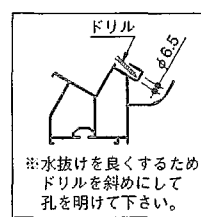
● 側枠



● たる木



● 前枠



※ 本図は外観左側を表す。

※ Aは、前枠端部から一番近いたる木取付孔までを表します。

規格表

● 横材

名称	部品番号	製品記号 (関東間)			製品記号 (関西間)			
		JGJCY10	JGJCY15	JGJCY20	JGJCY10W	JGJCY15W	JGJCY20W	
前枠	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
たる木掛け	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
セット部品	—	SE-1477-01	SE-1477-02	SE-1477-03	SE-1477-01	SE-1477-02	SE-1477-03	
	—	SG-1023-02	SG-1023-03	SG-1023-04	SG-1023-08	SG-1023-09	SG-1023-10	
セット部品内容	コーチスクリューφ6x70	—	3	4	5	3	4	5
	ワッシャー M6	—	3	4	5	3	4	5
	落し口パッキン	T-1002	1	1	1	1	1	1
	落し口カバー	T-1003	1	1	1	1	1	1
	トラスタッピン3種φ4x12	—	2	2	2	2	2	2
	孔フサギシール	M-212	4	6	8	4	6	8
	後付ビード	GB-1332	2	3	4	2	3	4

● 側枠

名称	部品番号	製品記号				
		JGJRG3	JGJRG4N	JGJRG5	JGJRG6N	
側枠 L	—	914.5 x 1	1219 x 1	1523.5 x 1	1828.5 x 1	
側枠 R	—	914.5 x 1	1219 x 1	1523.5 x 1	1828.5 x 1	
側枠カバー	—	914.5 x 2	1219 x 2	1523.5 x 2	1828.5 x 2	
セット部品	—	SB-3526-09	SB-3526-02	SB-3526-03	SB-3526-04	
セット部品内容	防水ビスφ5x16	—	12	14	18	20
	防水ビスφ5x30	—	4	4	4	4
	トラスタッピンφ5x12	—	4	4	4	4

製品記号の■部には色記号が入ります。
 S : セピアブラック
 H : ホワイト
 F : ファイングレー
 T : CBブラウン
 8 : CBステン

● たる木

名称	部品番号	製品記号												
		JGRT31	JGRT41N	JGRT51	JGRT61N	JGRT32	JGRT42N	JGRT52	JGRT62N	JGRT33	JGRT43N	JGRT53	JGRT63N	
たる木	—	913.5 x 1	1218 x 1	1522.5 x 1	1827.5 x 1	913.5 x 2	1218 x 2	1522.5 x 2	1827.5 x 2	913.5 x 3	1218 x 3	1522.5 x 3	1827.5 x 3	
たる木カバー	—	924.5 x 1	1229 x 1	1533.5 x 1	1838.5 x 1	924.5 x 2	1229 x 2	1533.5 x 2	1838.5 x 2	924.5 x 3	1229 x 3	1533.5 x 3	1838.5 x 3	
セット部品	—	SB-3526-14	SB-3526-11	SB-3526-12	SB-3526-13	SB-3526-19	SB-3526-16	SB-3526-17	SB-3526-18	SB-3526-24	SB-3526-21	SB-3526-22	SB-3526-23	
セット部品内容	防水ビスφ5x16	—	6	7	9	10	12	14	18	20	18	21	27	30
	防水ビスφ5x30	—	2	2	2	2	4	4	4	4	6	6	6	6
	トラスタッピンφ5x12	—	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	12

● 柱

名称	部品番号	製品記号	
		JGCP	JGCRP
柱	—	2800 x 2	2800 x 1

● 中骨

名称	部品番号	製品記号 (関東間)		製品記号 (関西間)	
		JGM2N	JGM3N	JGM2WN	JGM3WN
中骨	—	866.5 x 2	866.5 x 3	966.5 x 2	966.5 x 3
中骨ブラケット	IB-1098	4	6	4	6

● ポリカーボネイト板

名称	サイズ W x L x T	製品記号											
		AJGR31	AJGR41	AJGR51	AJGR61	AJGR32	AJGR42	AJGR52	AJGR62	AJGR33	AJGR43	AJGR53	AJGR63
ポリカーボネイト板	W x 956 x 2	1				2				3			
ポリカーボネイト板	W x 1261 x 2		1				2				3		
ポリカーボネイト板	W x 1565 x 2			1				2				3	
ポリカーボネイト板	W x 1870 x 2				1				2				3

ポリカーボネイト板の●部には色記号・間別が入ります。
 Z : ライトブロンズ (関東間) ZW : ライトブロンズ (関西間)
 P : ブルースモーク (関東間) PW : ブルースモーク (関西間)
 C : トーメイ (関東間) CW : トーメイ (関西間)
 Y : 熱線遮断 [アルースモーク] (関東間) / W : 熱線遮断 [アルースモーク] (関西間)

がけおし板寸法	関東間	関西間
W	895	995

● 接続柱

名称	部品番号	製品記号		
		JGJP7	JGJRP7	JGKJFP
柱	—	1300 x 2	1300 x 1	2500 x 2
セット部品	—	SE-1004-01	SE-1004-02	SE-1487-01
セット部品内容	柱ジョイント	AB-1007	2	1
	柱ジョイントカバー	C-1402	2	1
	セルフドリリングネジφ4x13	—	19	10
	接固定ブラケット (上用)	UB-1067	—	2
	接固定ブラケット (下用)	EB-1893	—	2
	M5ターナット	BN-1121	—	4
	M5x20 トラス小ネジ	—	—	4
	φ5x13セルフドリリングネジ	—	—	4
	M5用 ワッシャー	—	—	4
	六角ボルト M8x85	—	—	4
	M8用 ワッシャー	—	—	4
M8用 スプリングワッシャー	—	—	4	
M8用 袋ナット	—	—	4	
落し口ジョイント	ETC-2766	—	2	
施工マニュアル	ME-1588	—	1	

● 内嵌部材

名称	部品番号	製品記号				
		JGRU3	JGRU4N	JGRU5	JGRU6N	
側枠カバー	—	914.5 x 2	1219 x 2	1523.5 x 2	1828.5 x 2	
側枠 L	—	914.5 x 1	1219 x 1	1523.5 x 1	1828.5 x 1	
側枠 R	—	914.5 x 1	1219 x 1	1523.5 x 1	1828.5 x 1	
たる木カバー	—	924.5 x 1	1229 x 1	1533.5 x 1	1838.5 x 1	
たる木	—	913.5 x 1	1218 x 1	1522.5 x 1	1827.5 x 1	
セット部品	—	SB-3526-45	SB-3526-41	SB-3526-42	SB-3526-43	
セット部品内容	防水ビスφ5x16	—	18	21	27	30
	防水ビスφ5x30	—	6	6	6	6
	トラスタッピン3種φ5x12	—	8	8	8	8
	後付ビード	GB-1332	293x4 607.5x4	593x4 612x4	493x4 487x4	593x4 587x4
				516.5x4	621.5x4	

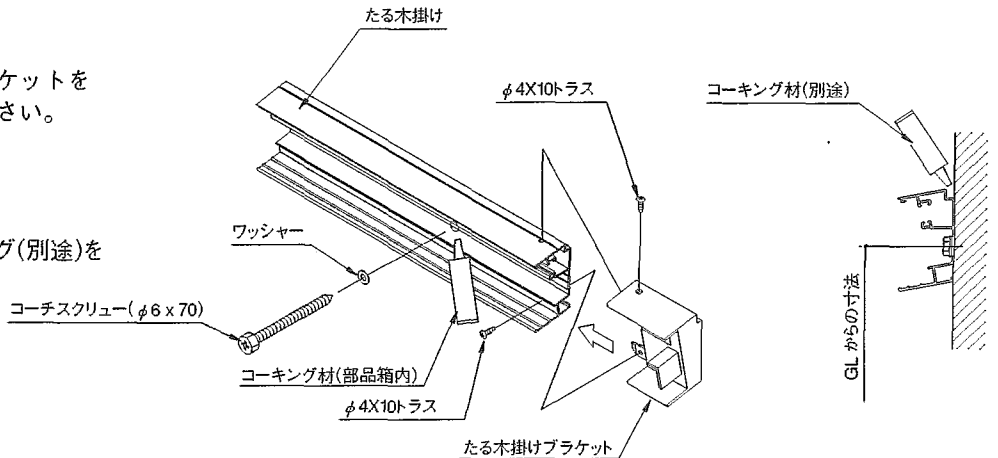
組立手順 (基本 単体タイプ)

① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けに、たる木掛けブラケットを $\phi 4 \times 10$ トラスで固定してください。
- ◎ たる木掛けの高さを決めてコーチスクリュー ($\phi 6 \times 70$) で固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、コーキング材(別途)をしてください。

注意

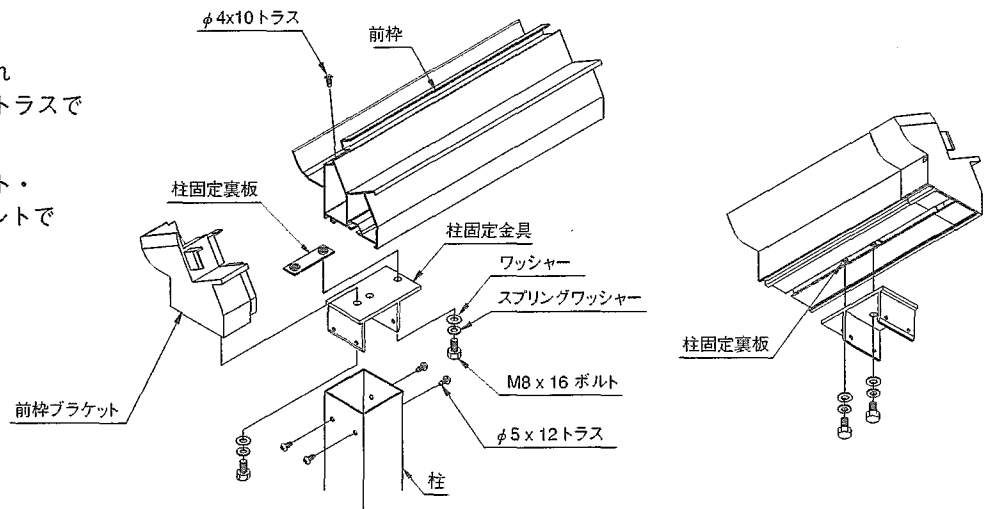
- ◎ コーチスクリューの下孔は $\phi 4.5$ 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材(部品箱内)を充てんしてください。



	3尺	4尺	5尺	6尺
GLからの寸法	2789	2842	2895	2948

② 柱と前枠の組立

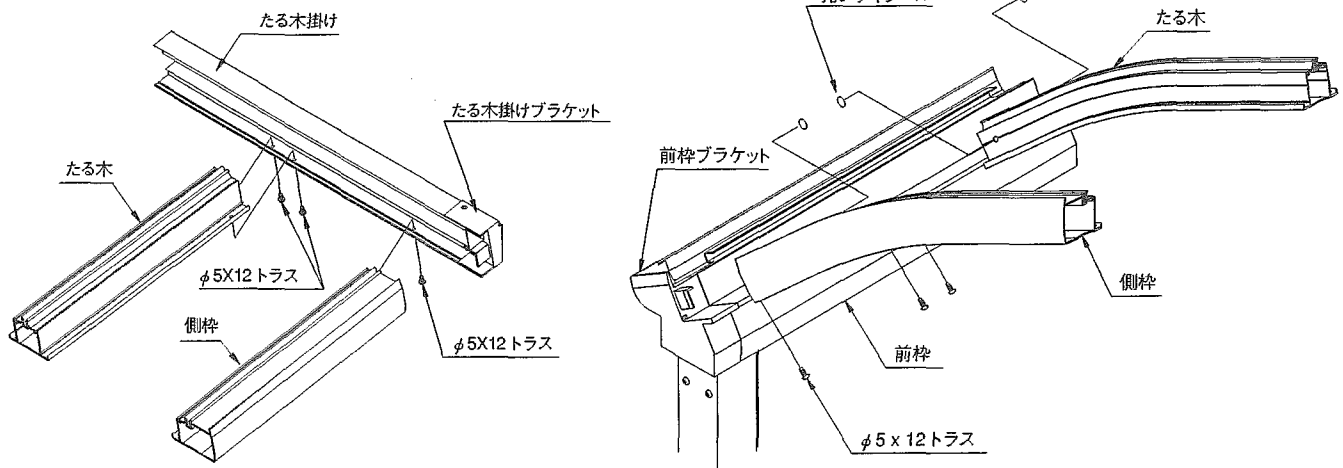
- ◎ 柱固定裏板を前枠の中に入れ前枠ブラケットを $\phi 4 \times 10$ トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定金具を前枠ブラケット・柱固定裏板に、M8 x 16 ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込み $\phi 5 \times 12$ トラスで固定してください。



③ 側枠とたる木の組立

- ◎ 前枠・たる木掛けに $\phi 5 \times 12$ トラスで側枠・たる木を固定してください。

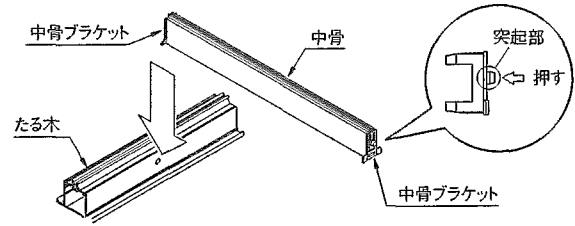
- ◎ 側枠・たる木の前枠側の孔に孔フサギシールを貼りつけて下さい。



組立手順 (基本 単体タイプ)

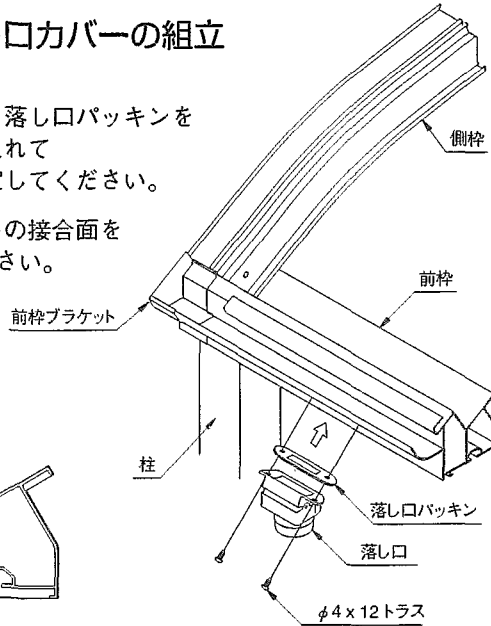
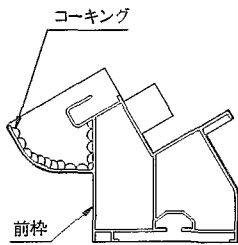
④ 中骨の組立

- ◎ たる木・側枠の孔に合せ、中骨ブラケットの突起部を押し付けながら差込んでください。
- ※ 中骨に前後左右の向きはありません。

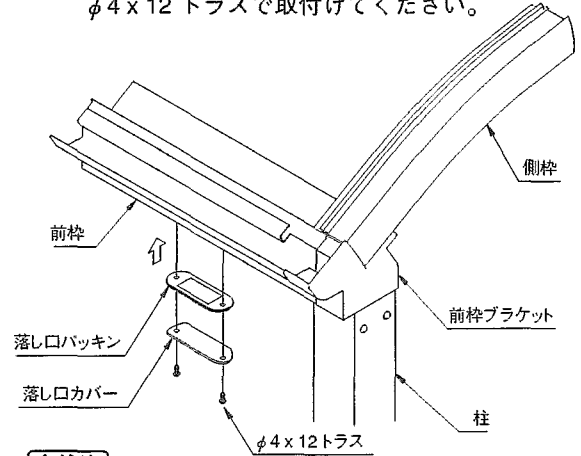


⑤ 落とし口と落とし口カバーの組立

- ◎ 前枠の水抜き孔部に、落とし口パッキンを前枠と落とし口の間に入れて $\phi 4 \times 12$ トラスで固定してください。
- ◎ 前枠と前枠ブラケットの接合面をコーキングしてください。



- ◎ 落とし口が付かない前枠の水抜き孔部には、落とし口パッキン、落とし口カバーを $\phi 4 \times 12$ トラスで取付けてください。

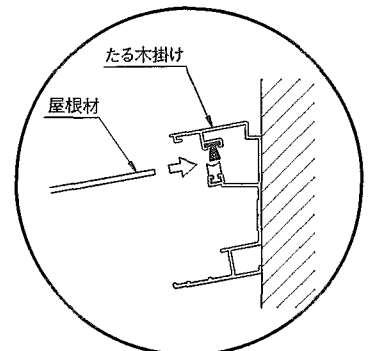
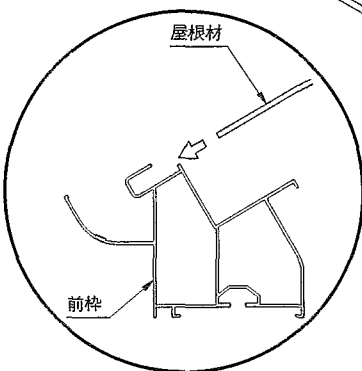
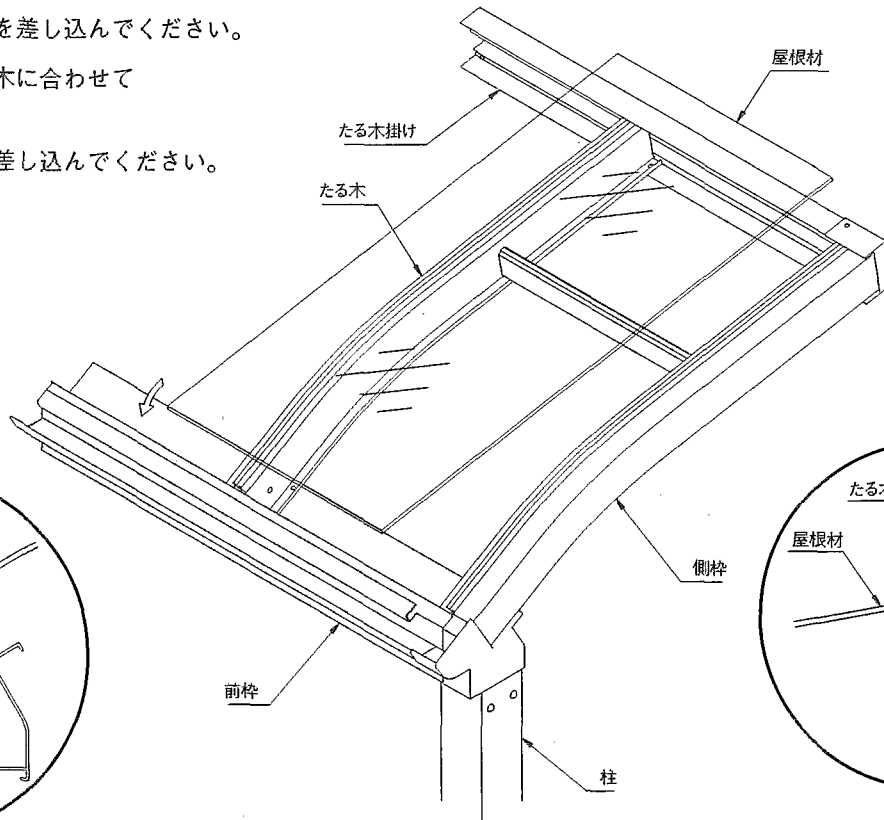


△注意

落とし口は方向性がありますので注意願います。
(基本断面図参照)

⑥ 屋根材の組立

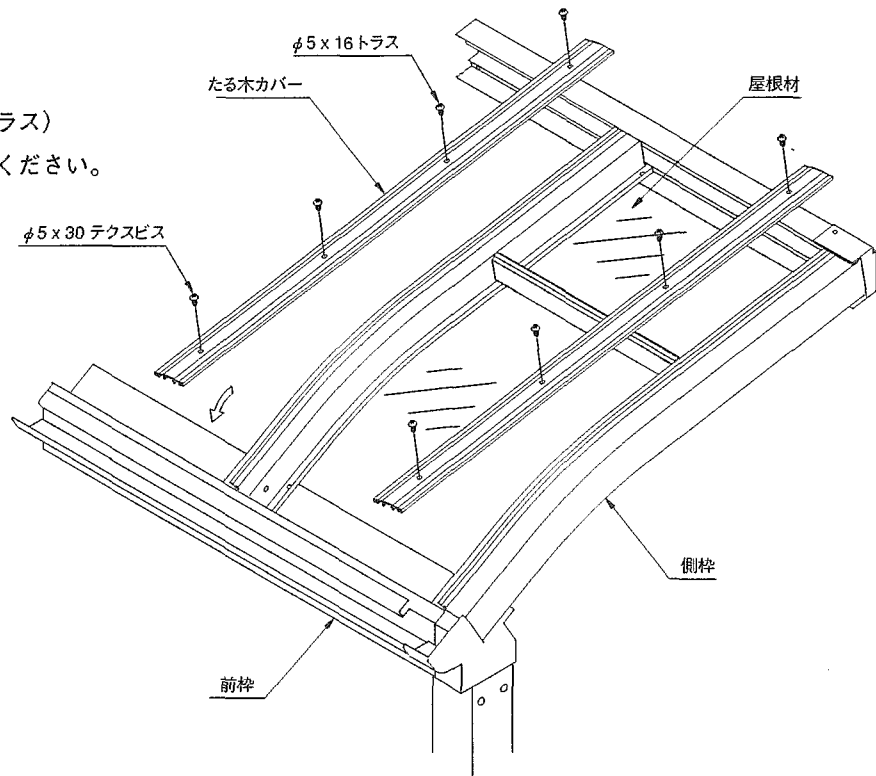
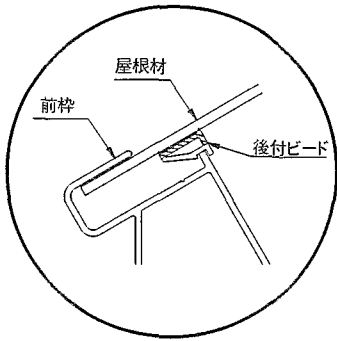
- ◎ たる木掛けに屋根材を差し込んでください。
- ◎ 屋根材を側枠・たる木に合わせて曲げてください。
- ◎ 前枠の溝に屋根材を差し込んでください。



組立手順 (基本 単体タイプ)

⑦ たる木カバーの組立

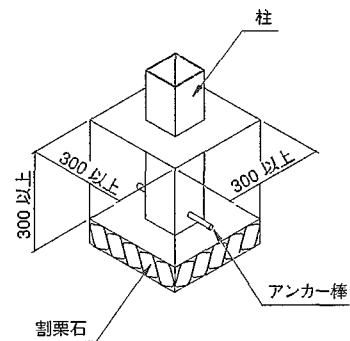
- ◎ たる木カバーで屋根材を固定してください。(φ5×16 トラス)
- ◎ 前枠に後付けビードを嵌め込んでください。



*たる木カバー前枠側固定ビスと次のビスは抜け防止のため、テクスビス(φ5×30)で取付けてください。

⑧ 柱の固定

- ◎ 柱にアンカー棒を差し込んでください。
- ◎ 基礎巾 300mm 以上・基礎深さ 300mm 以上で必ず、割栗石をいれてください。

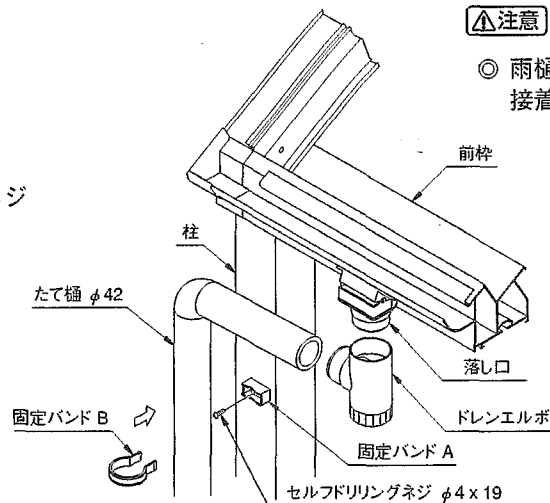


⑨ 雨樋の組立

- ◎ 落とし口にドレンエルボを接着材を添付して固定してください。
- ◎ 柱に固定バンド A を、セルフドリリングネジ φ4×19 で固定してください。
- ◎ ドレンエルボにたて樋を接着材を塗布して固定してください。
- ◎ たて樋を固定バンド A、B で柱に固定してください。

注意

- ◎ 雨樋の接合面には、必ず付属の接着材を塗布してください。



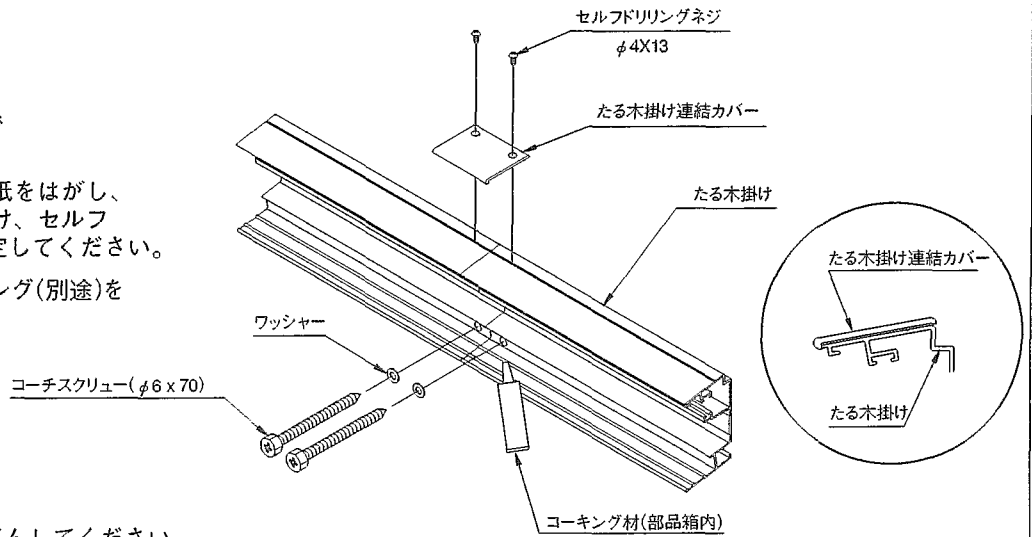
組立手順 (基本 連棟タイプ)

① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けを合わせてコーチスクリュー(φ6 x 70)で固定してください。
- ◎ たる木掛け連結カバーの離型紙をはがし、たる木掛けの連結部に貼り付け、セルフドリリングネジ(φ4x13)で固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、コーキング(別途)をしてください。

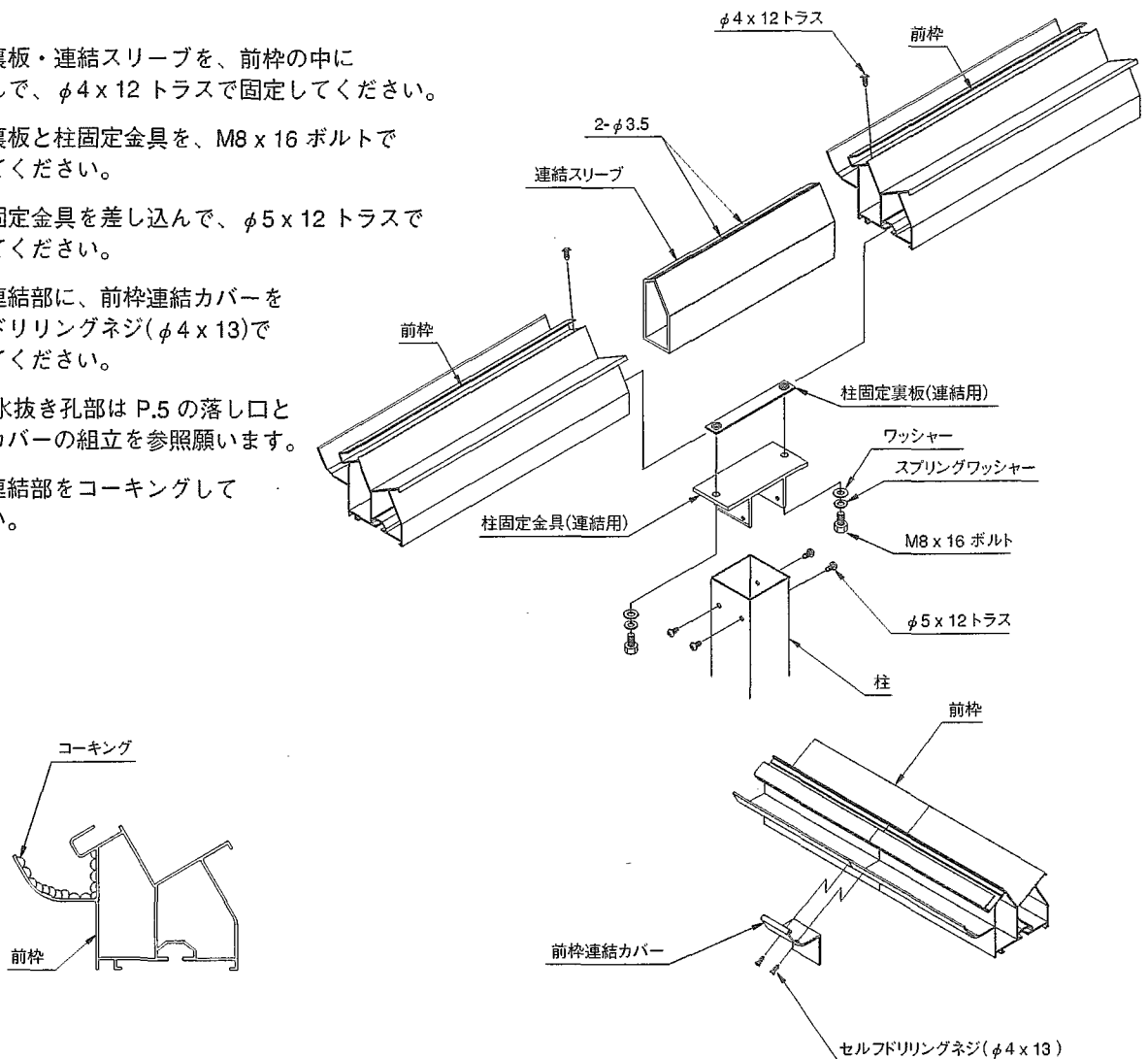
⚠注意

- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材(部品箱内)を充てんしてください。



② 前枠の連結と柱の組立

- ◎ 柱固定裏板・連結スリーブを、前枠の中に差し込んで、φ4 x 12 トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定裏板と柱固定金具を、M8 x 16 ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込んで、φ5 x 12 トラスで固定してください。
- ◎ 前枠の連結部に、前枠連結カバーをセルフドリリングネジ(φ4 x 13)で固定してください。
- ◎ 連結部 水抜き孔部は P.5 の落とし口と落とし口カバーの組立を参照願います。
- ◎ 前枠の連結部をコーキングしてください。



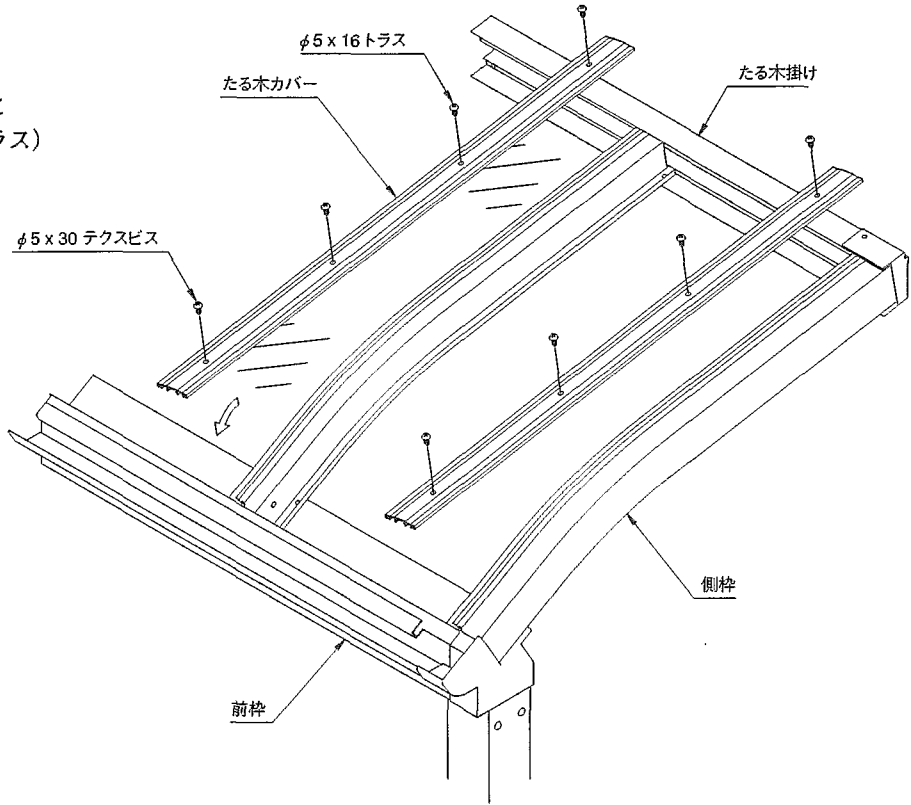
組立手順 (内嵌タイプ)

△注意 屋根材の最後の1枚だけを内嵌方法で施工願います。
内嵌め以外の部分は組立手順 (P.4~7) を参照願います。

① たる木カバーの組立

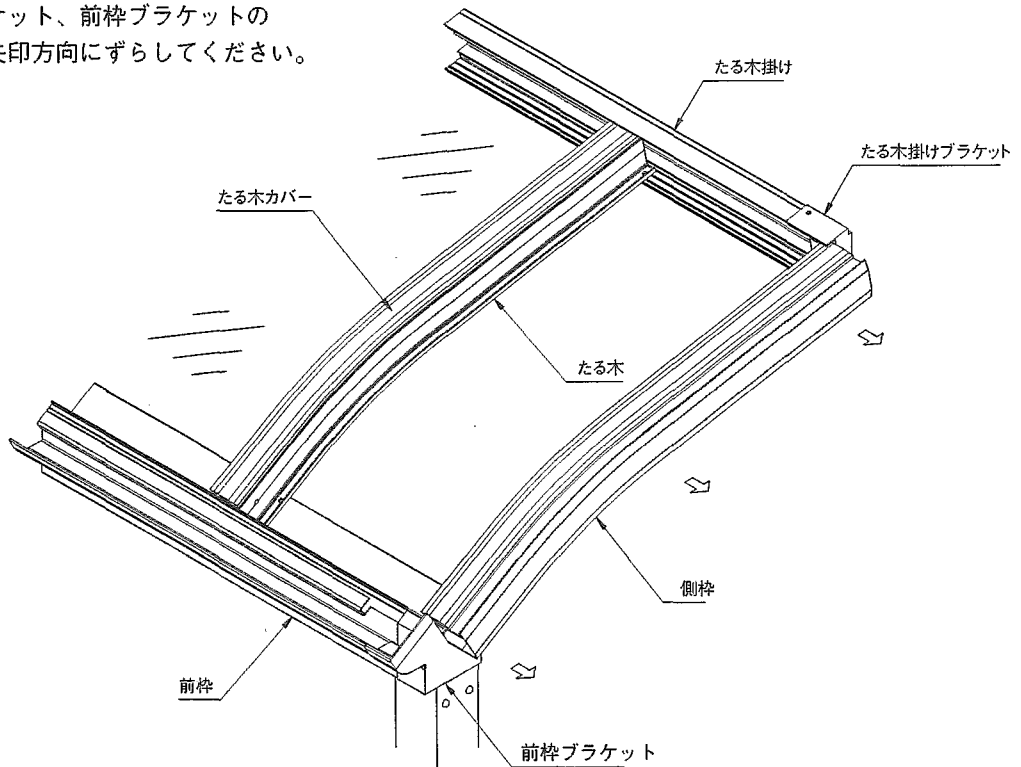
◎ たる木カバーを、たる木、側枠に
固定してください。(φ5×16 トラス)

*たる木カバー前枠側固定ビス
と次のビスは抜け防止のため、
テクスビス(φ5×30)で取付け
てください。



② 側枠をずらす

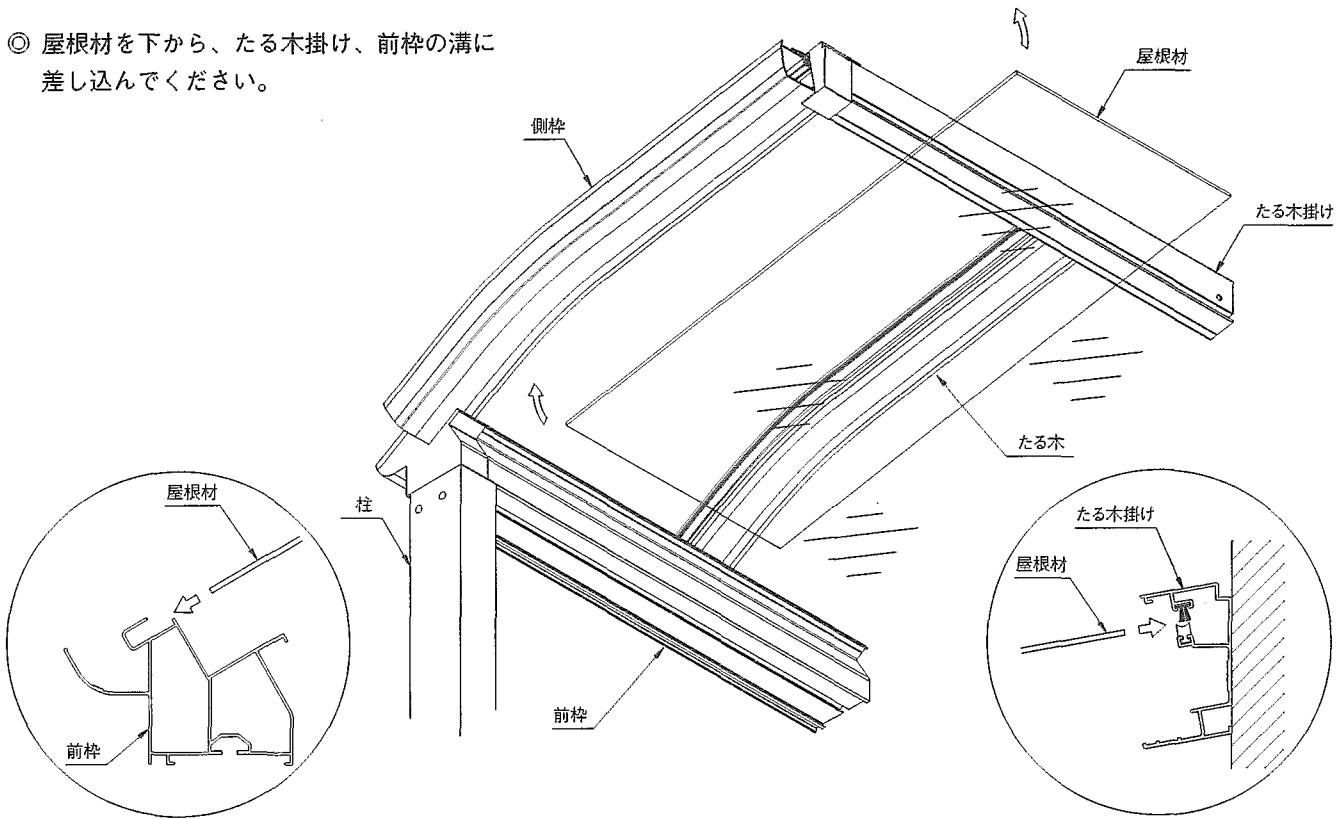
◎ 側枠をたる木掛けブラケット、前枠ブラケットの
フィンに当たるまで、矢印方向にずらしてください。



組立手順 (内嵌タイプ)

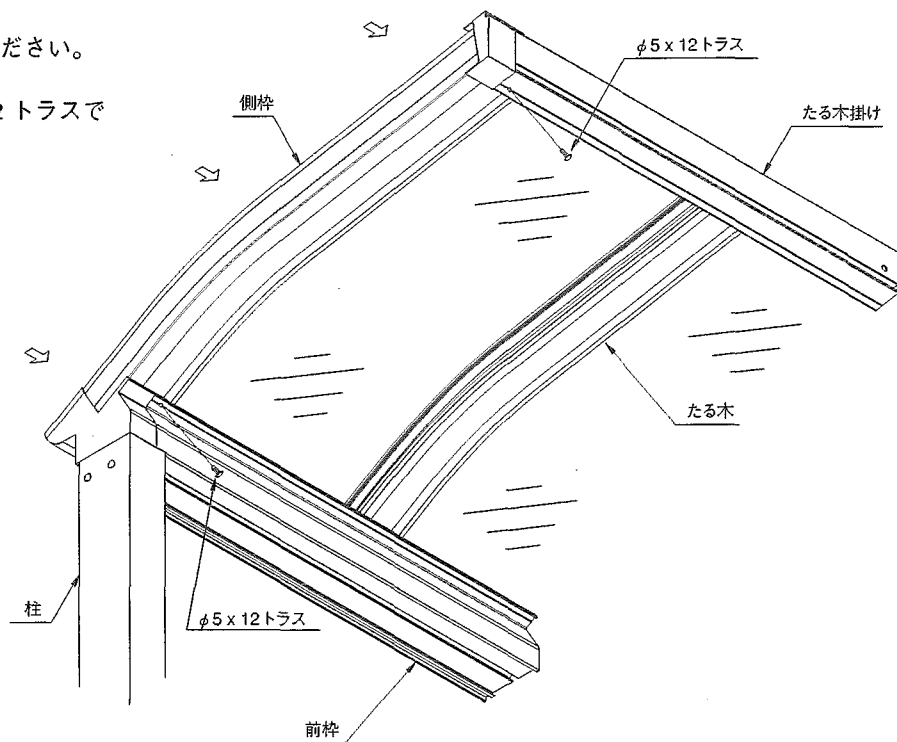
③ 屋根材の組立

- ◎ 屋根材を下から、たる木掛け、前枠の溝に差し込んでください。



④ 側枠を戻す

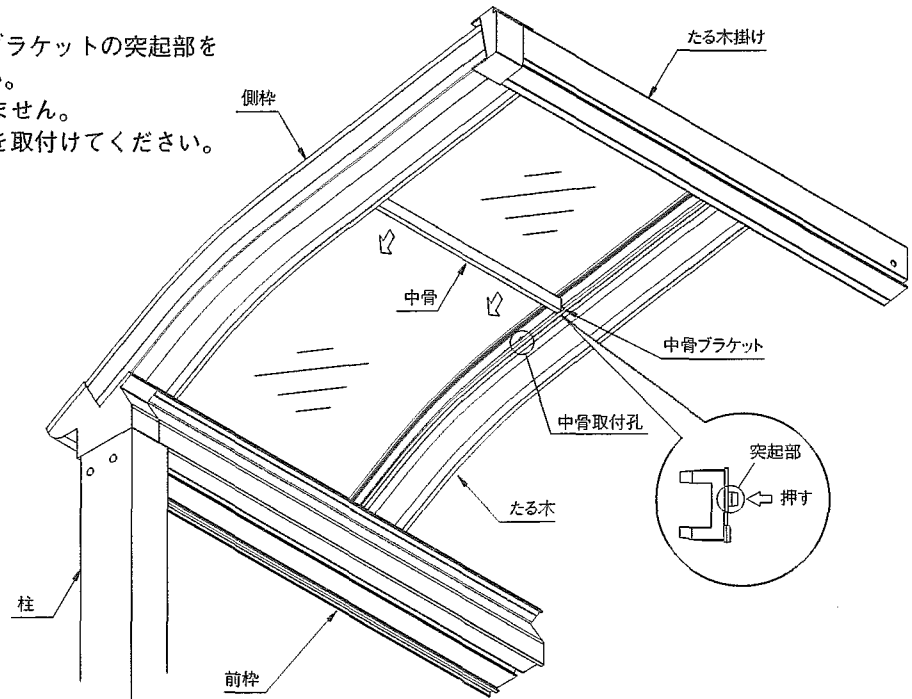
- ◎ 側枠を矢印方向に戻してください。
- ◎ 前枠・たる木掛けに $\phi 5 \times 12$ トラスで側枠を固定してください。



組立手順 (内嵌タイプ)

⑤ 中骨の組立

- ◎ たる木・側枠の孔に合せ、中骨ブラケットの突起部を押し付けながら差込んでください。
- ※ 中骨に前後左右の向きはありません。
- ※ 屋根材を少し持ち上げて中骨を取付けてください。

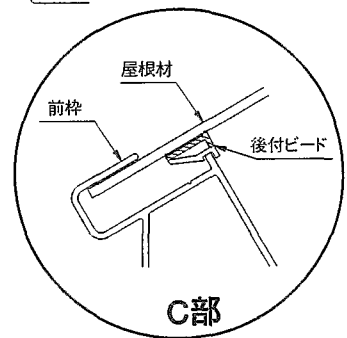
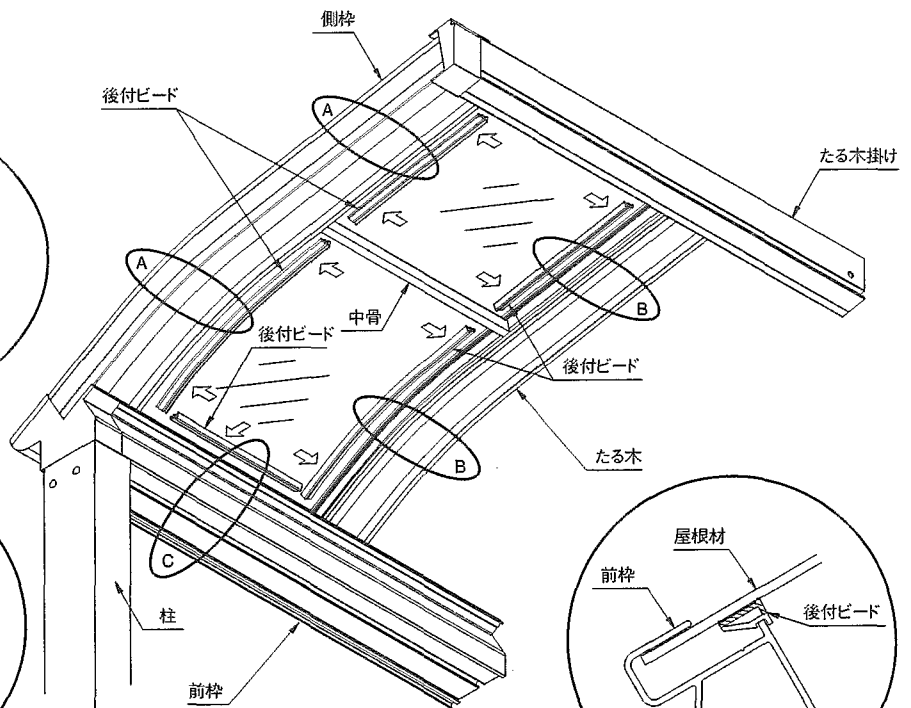
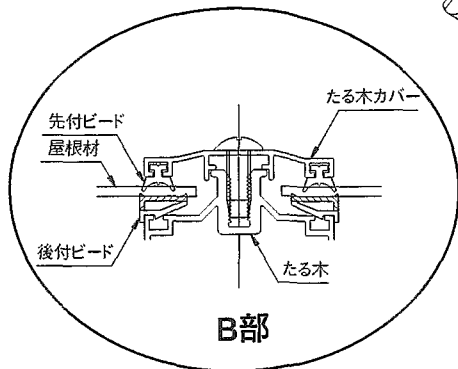
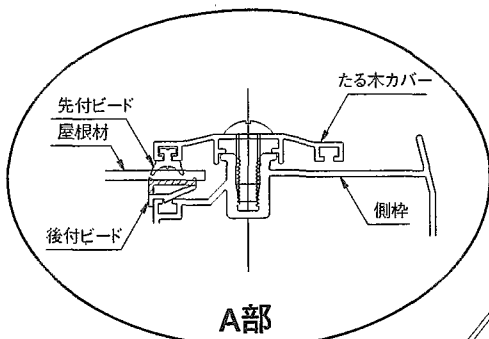


⑥ 後付けビードの取付け

△注意

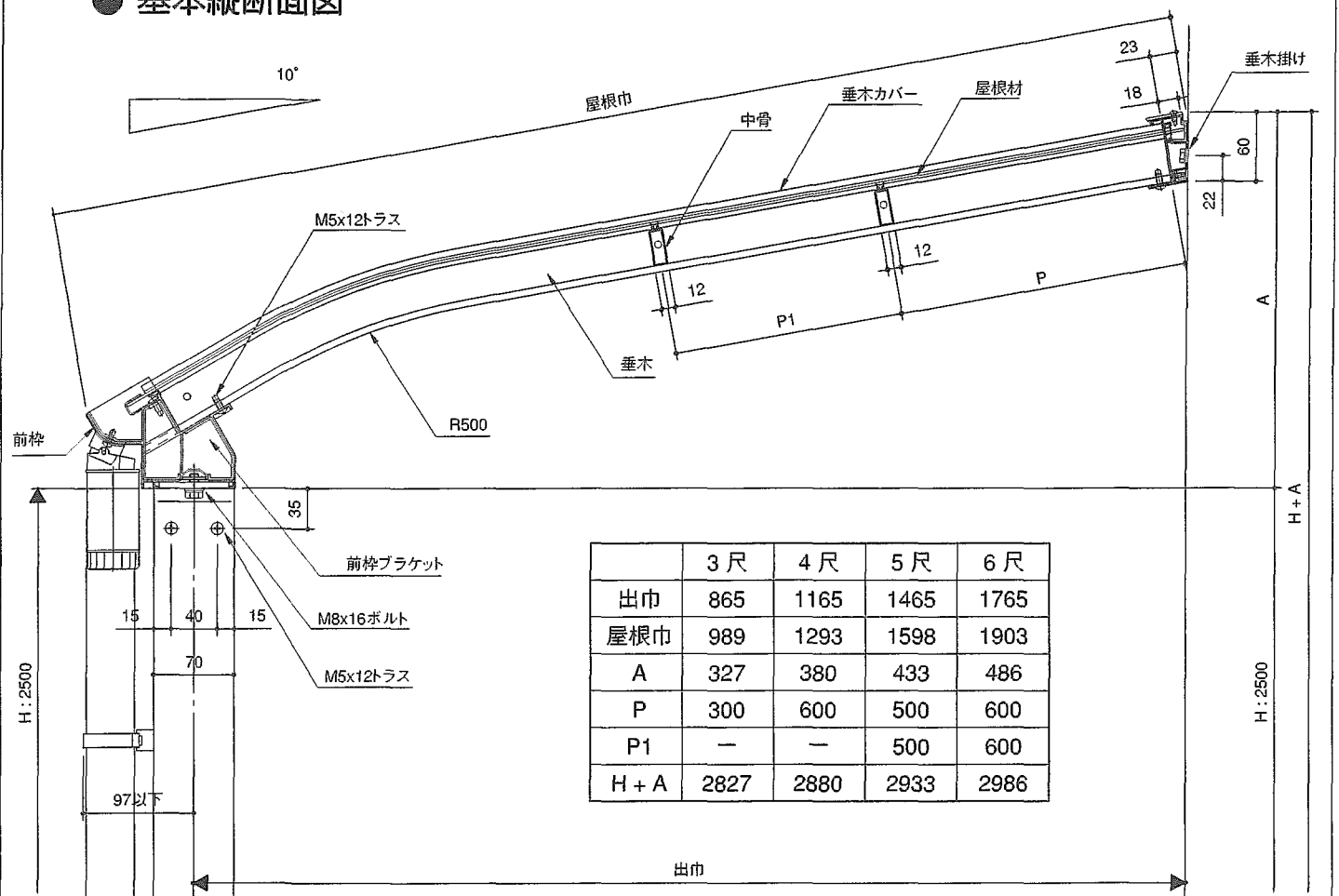
- ◎ 後付けビード(硬質)を木ハンマー等でたたき込んでください。

- ◎ 後付けビードを嵌め込みます。



基本納まり図

● 基本縦断面図



● 基本横断面図

